



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 高見澤
 コード番号 5283 URL <http://www.kk-takamisawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高見澤 秀茂
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 大井 文成
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 026-228-0111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	28,768	22.7	577	48.3	620	59.8	399	127.7
25年6月期第2四半期	23,440	△1.6	389	△28.2	388	△23.9	175	△26.6

(注)包括利益 26年6月期第2四半期 502百万円 (400.7%) 25年6月期第2四半期 100百万円 (△63.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	46.77	—
25年6月期第2四半期	20.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	31,898	7,379	21.4	798.77
25年6月期	28,005	6,906	22.8	747.50

(参考)自己資本 26年6月期第2四半期 6,822百万円 25年6月期 6,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,100	△3.7	600	△20.0	630	△22.4	290	△28.5	33.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期2Q	8,792,000 株	25年6月期	8,792,000 株
② 期末自己株式数	251,280 株	25年6月期	250,808 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	8,540,959 株	25年6月期2Q	8,612,837 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株価の上昇を背景として企業業績の改善が見られ、個人消費も底堅く推移いたしました。一方、新興国の景気減速懸念により先行き不透明さが拭えない状況も続きました。

当社グループの主体である建設業界におきましても、公共工事の増加、民間企業の設備投資も回復し始め、増加傾向になってきました。

一方、海外事業を展開している中国経済は、自動車販売が過去最高の台数を見込み活況です。当社が生コン製造販売事業を展開している山東省も都市部はマンション建設が盛んで地方から住民が移動して都市化が進んでいます。石炭の煤煙、自動車の排気ガス等で大気汚染が進んでいますが直接の影響はありません。

このような経済環境のなかにあつて、当社グループは、一層営業活動を強化し、収益拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の実績につきましては、売上高28,768百万円（前年同四半期比22.7%増）、営業利益577百万円（前年同四半期比48.3%増）、経常利益620百万円（前年同四半期比59.8%増）、四半期純利益399百万円（前年同四半期比127.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設関連事業

国内の建設関連事業では、引き続き大型補正予算の執行が進む中、提案営業の強化により、建設資材関連の販売が順調に推移し増収増益となりました。中国市場においては、生コン販売が増加し増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,448百万円（前年同四半期比15.8%増）、営業利益は300百万円（前年同四半期比69.6%増）となりました。

② 電設資材事業

電設資材部門は、特に太陽光発電設備やLED照明等創エネ・省エネ関連商材の販売が引き続き好調で増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,591百万円（前年同四半期比30.4%増）、営業利益は218百万円（前年同四半期比37.7%増）となりました。

③ カーライフ関連事業

石油部門では、原油価格が高値で推移したこと、燃料油、油外の商品販売促進とコスト削減を徹底することで、増収増益となりました。オート部門では、車検、整備入庫と車両販売の営業を強化し、経費削減に取り組み増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,777百万円（前年同四半期比13.1%増）、営業利益は72百万円（前年同四半期比32.4%増）となりました。

④ 住宅・生活関連事業

主な事業として、不動産部門では、分譲・建売物件の売上が増加し増収増益となりました。農産物部門では、きこの培地の販売が順調に推移したものの、円安による主要原材料の高騰が続き原価高となり増収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,950百万円（前年同四半期比19.8%増）、営業利益は47百万円（前年同四半期比14.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は18,179百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,343百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が951百万円、受取手形及び売掛金が2,114百万円、たな卸資産が282百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,718百万円となり、前連結会計年度末に比べ548百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が214百万円、投資有価証券が293百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、31,898百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,892百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は17,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,956百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,357百万円、短期借入金が1,213百万円増加したことによるものであります。固定負債は、7,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ463百万円増加いたしました。これは主に長期借入金392百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、24,519百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,419百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,379百万円となり、前連結会計年度末に比べ472百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益399百万円及び為替換算調整勘定が72百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は21.4%（前連結会計年度末は22.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて951百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には1,944百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は129百万円（前年同四半期は92百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益697百万円及び仕入債務の増加額1,327百万円に対し、売上債権の増加額2,034百万円及びたな卸資産の増加額280百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は462百万円（前年同四半期は290百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出235百万円及び投資有価証券の取得による支出300百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は1,541百万円（前年同四半期は740百万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の純増額1,035百万円、長期借入れによる収入1,400百万円、長期借入金の返済による支出830百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績を勘案し、平成25年8月12日に公表いたしました平成26年6月期第2四半期の連結業績予想の修正をいたしました。なお、当該修正に関する開示は、本日（平成26年2月12日）公表の「業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434	2,386
受取手形及び売掛金	10,675	12,789
商品及び製品	1,493	1,676
仕掛品	312	365
原材料及び貯蔵品	196	241
繰延税金資産	217	151
その他	596	722
貸倒引当金	△90	△154
流動資産合計	14,835	18,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,998	8,094
減価償却累計額	△5,244	△5,340
建物及び構築物 (純額)	2,753	2,754
機械装置及び運搬具	5,127	5,311
減価償却累計額	△3,842	△3,974
機械装置及び運搬具 (純額)	1,284	1,337
土地	6,252	6,252
リース資産	354	324
減価償却累計額	△236	△134
リース資産 (純額)	118	189
建設仮勘定	743	816
その他	1,629	1,671
減価償却累計額	△1,381	△1,407
その他 (純額)	247	263
有形固定資産合計	11,399	11,613
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	355	649
繰延税金資産	50	64
その他	1,720	1,787
貸倒引当金	△637	△683
投資その他の資産合計	1,489	1,818
固定資産合計	13,169	13,718
資産合計	28,005	31,898

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,647	7,004
短期借入金	6,931	8,144
1年内償還予定の社債	50	50
リース債務	60	61
未払法人税等	120	207
賞与引当金	287	151
その他	1,144	1,577
流動負債合計	14,241	17,197
固定負債		
長期借入金	4,639	5,031
リース債務	73	147
再評価に係る繰延税金負債	452	452
退職給付引当金	1,198	1,221
役員退職慰労引当金	201	153
環境対策引当金	150	143
資産除去債務	60	60
その他	83	110
固定負債合計	6,858	7,321
負債合計	21,099	24,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	4,870	5,244
自己株式	△45	△45
株主資本合計	6,089	6,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70	61
土地再評価差額金	50	50
為替換算調整勘定	174	247
その他の包括利益累計額合計	295	359
少数株主持分	521	556
純資産合計	6,906	7,379
負債純資産合計	28,005	31,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	23,440	28,768
売上原価	20,276	25,087
売上総利益	3,163	3,680
販売費及び一般管理費	2,774	3,103
営業利益	389	577
営業外収益		
受取利息	5	5
持分法による投資利益	8	15
為替差益	16	19
仕入割引	59	75
不動産賃貸料	29	28
その他	33	39
営業外収益合計	153	183
営業外費用		
支払利息	112	109
その他	41	31
営業外費用合計	154	140
経常利益	388	620
特別利益		
固定資産売却益	2	11
投資有価証券売却益	—	61
投資有価証券評価損戻入益	9	5
その他	—	3
特別利益合計	11	81
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	2	1
固定資産圧縮損	0	—
環境対策引当金繰入額	—	3
特別損失合計	5	5
税金等調整前四半期純利益	394	697
法人税、住民税及び事業税	85	229
法人税等調整額	117	51
法人税等合計	203	281
少数株主損益調整前四半期純利益	190	415
少数株主利益	15	16
四半期純利益	175	399

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	190	415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△8
為替換算調整勘定	△79	80
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	15
その他の包括利益合計	△90	87
四半期包括利益	100	502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110	462
少数株主に係る四半期包括利益	△10	40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	394	697
減価償却費	284	293
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	94
賞与引当金の増減額(△は減少)	△148	△136
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1	23
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12	△47
受取利息及び受取配当金	△7	△9
支払利息	112	109
為替差損益(△は益)	△16	△19
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△61
売上債権の増減額(△は増加)	△1,232	△2,034
たな卸資産の増減額(△は増加)	△188	△280
未収入金の増減額(△は増加)	△131	△116
仕入債務の増減額(△は減少)	1,112	1,327
未払金の増減額(△は減少)	△13	186
前受金の増減額(△は減少)	14	70
その他	△45	17
小計	153	112
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	△116	△111
法人税等の支払額	△135	△138
営業活動によるキャッシュ・フロー	△92	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△284	△235
有形固定資産の売却による収入	9	13
無形固定資産の取得による支出	△6	△10
投資有価証券の取得による支出	△0	△300
投資有価証券の売却による収入	—	68
貸付けによる支出	△12	△4
貸付金の回収による収入	3	6
定期預金の預入による支出	△7	△7
定期預金の払戻による収入	7	7
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290	△462
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	329	1,035
長期借入れによる収入	1,290	1,400
長期借入金の返済による支出	△793	△830
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△46	△32
自己株式の取得による支出	△13	△0
配当金の支払額	△25	△27
少数株主への配当金の支払額	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	740	1,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	354	951
現金及び現金同等物の期首残高	1,439	993
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,794	1,944

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年7月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,567	11,186	4,223	2,462	23,440	—	23,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	78	15	159	37	290	△290	—
計	5,645	11,201	4,383	2,499	23,730	△290	23,440
セグメント利益	177	158	54	55	446	△57	389

（注）1. セグメント利益の調整額△57百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年7月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,448	14,591	4,777	2,950	28,768	—	28,768
セグメント間の内部 売上高又は振替高	71	7	172	80	332	△332	—
計	6,520	14,598	4,950	3,031	29,100	△332	28,768
セグメント利益	300	218	72	47	639	△61	577

（注）1. セグメント利益の調整額△61百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。